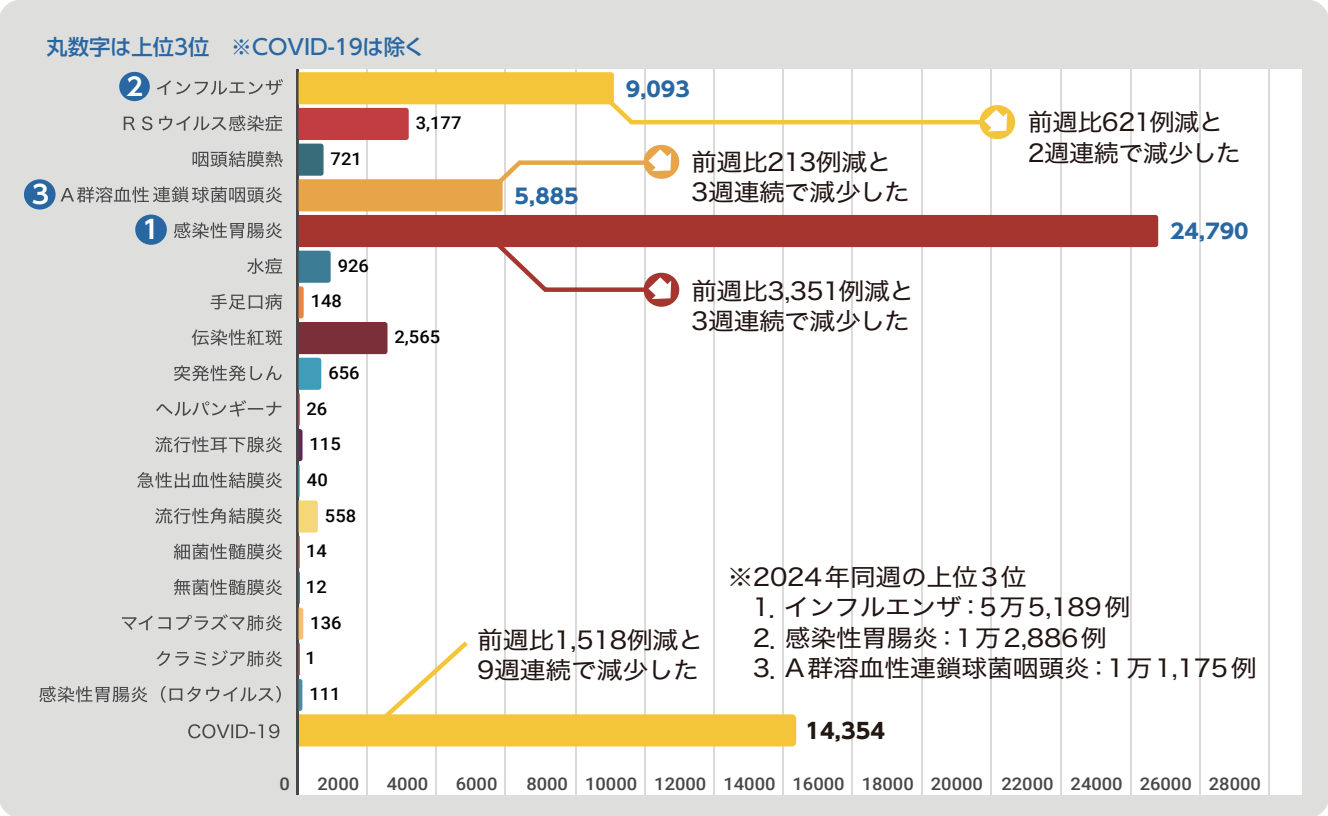
感染症 Weekly Report

感染症動向調査2025年第13週 3月24～30日

国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイトが発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患（週報告）、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

伝染性紅斑が増加、感染性胃腸炎やコロナは減少



（国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイトのデータを基に編集部作成）

❶感染性胃腸炎

報告数

1. 東京都：2,070例
2. 神奈川県：1,624例
3. 大阪府：1,533例

定点当たりの報告数（7.95）

1. 愛媛県：16.80
2. 大分県：16.25
3. 宮崎県：15.56
4. 香川県：12.79
5. 福井県：12.52
6. 富山県：12.21
7. 鹿児島県：11.90
8. 山口県：11.26
9. 石川県：11.00
10. 広島県：10.88
11. 山梨県：10.88
12. 熊本県：9.98

❷インフルエンザ

報告数

1. 東京都：798例
2. 神奈川県：625例
3. 大阪府：573例

定点当たりの報告数（1.85）

1. 長野県：4.00
2. 富山県：3.92
3. 沖縄県：3.84
4. 秋田県：3.46
5. 新潟県：3.43
6. 岩手県：3.39
7. 栃木県：3.09
8. 福島県：3.07
9. 和歌山県：2.52
10. 群馬県：2.45
11. 香川県：2.40
12. 兵庫県：2.07

❸A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

1. 東京都：589例
2. 北海道：516例
3. 埼玉県：399例

定点当たりの報告数（1.89）

1. 富山県：4.62
2. 茨城県：4.52
3. 北海道：3.79
4. 鳥取県：3.26
5. 大分県：3.11
6. 新潟県：3.09
7. 愛媛県：2.97
8. 福岡県：2.93
9. 山形県：2.68
10. 高知県：2.68
11. 石川県：2.66
12. 千葉県：2.56

今週の感染症動向

感染性胃腸炎は3,351例減と3週連続で減少し、2万5,000例を割り込んだ。インフルエンザは621例減と2週連続で減少した。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は213例減と3週連続で減少した。COVID-19は9週連続で減少し、1万5,000例を割り込んだ。RSウイルス感染症は486例減と3週連続で減少した。伝染性紅斑は491例増と増転し、2,500例を超えた。定点当たりの報告数が最も多い栃木県（2.33）では警報レベル（2.00）を超えており、以下、福島県（1.90）、富山県（1.72）、青森県（1.70）、岩手県（1.64）と続いた。多くの感染症が減少傾向にあるものの、引き続き今後の動向に注意が必要である。